

高橋悠治 ピアノ・リサイタル

明け方の雲が色を変えていくように
黄昏の空気が冷えていくように
音楽はことばにならない時代の変化を映す

高橋悠治

余音と 多岐手

高橋悠治 (ピアノ)

バッハ 組曲ハ短調
J.S. Bach Suite in c minor BWV.997

オリヴァー・ナッセン 祈りの鐘素描 (武満徹追悼)
Oliver Knussen Prayer Bell Sketch Op.29 (1998)

増本伎共子 連歌 (2004)

高橋悠治 荒地花笠 (2018) (初演)

クロード・ヴィヴィエ ピアノフォルテ
Claude Vivier Pianoforte (1975)

石田秀実 フローズン・シティII (1988-91)

ドメニコ・チマローザ ソナタ イ短調
Domenico Cimarosa Sonata in La min. C.55

2018年3月2日(金)

19:00開演 18:30開場

● 浜離宮朝日ホール



プロフィール

高橋悠治 (作曲・ピアノ)

1960年 草月アートセンター

1974-76年 季刊誌「トランソニック」

1978-85年「水牛楽団」「月刊・水牛通信」

以来は作曲・演奏・即興で少数の協力者と活動を続ける

http://www.suigyuu.com/yuji

著書

「高橋悠治/コレクション 1970年代」(平凡社)

「音の静寂静寂の音」(平凡社)

「きっかけの音楽」「カフカノート」(みすず書房)

全席指定 4500円 (税込) 一般発売日 11月9日(木)

・朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日祝のぞく 10:00-18:00)

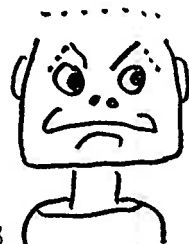
・朝日ホール・オンラインチケット 検索

・イープラス http://eplus.jp/

・ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター/10:00-20:00) http://l-tike.com/

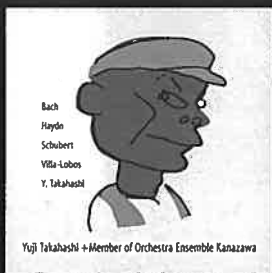
未就学児の入場不可、託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ (要予約): 0120-788-222

浜離宮朝日ホール TEL03-5541-8710 都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅 A2 出口すぐ



え/柳生弦一郎

高橋悠治 [ピアノ]



バッハで始まり、高橋悠治で終わる。

バッハ: ピアノ協奏曲第1番 二短調 BWV 1052 / ハイドン: ピアノ三重奏曲第37番 二短調 Hob. XV/23 / シューベルト: ノットゥルノ 変ホ長調 Op. 148 D897 / ヴィラーロボス: ショーロ第5番「ブラジルの魂」/ 高橋悠治: 老いたるえびのうた (詩: 室生犀星)

高橋悠治の肖像

高橋悠治の肖像

[CD1] クロマモルフII (1964) / 星火 (2005) / なびかひ (2007) / ジョン・ダウランド運る (1974) / はしまりのことば オルフェウス教の (1989) [CD2] 櫻 (しんぐ) (2007) / 名前よ立って歩け / 最後のノート (1981) / おやすみなさい (2005) / さまよう風の痛み (1981)



solo

モーツァルト: ロンド 二長調 K. 485 / シューベルト: ピアノ・ソナタ第20番 イ長調 D. 959 : 第2楽章 / 高橋悠治: 予守唄 (Version A), (Version B) / ガルツピ: ソナタ 八長調 / ショパン: マズルカ第36番 イ短調 Op. 59-1 / ショパン: マズルカ第35番 八短調 Op. 56-3 / モーツァルト: ロンド 二長調 K. 511



バッハ: ゴルトベルク変奏曲

avex-classics



高橋悠治 エリック・サティ 新・ピアノ作品集

クラシック音楽の垣根を超えて、日本におけるサティ・ブームを巻き起こした高橋悠治 コロムビアで約40年ぶりの新録音。

ジムノペディI-II-III / グノシエンヌI-II-III-IV-V-VI-VII / サラバンドI-II-III / ノクチュルヌI-II-III-IV-V-VI 1886年の3つの歌より「天使たち」「エレジー」「シルヴィー」 / [Bonus track] ジョ・トゥ・ヴ 高橋悠治 (ピアノ) 収録: 2017年6月20~21日 五反田文化センター 音楽ホール [UHQ-CD] COCQ-85373 ¥3,000+税

2017 9.20 RELEASE

左手が、こんなに危うく響くジムノペディは聞いたことがない。綱渡りのようだ。それも、あらかじめどこからどこまで綱が張ってあるかが明らかにされているのではなく、音を踏むたびに、綱の行き先と綱の張り方が少しずつ明らかにされていくかのようだ

—— 細馬宏通 (滋賀県立大学教授 / 「うたのしくみ」)

今年79歳をむかえ、クラシック界のみならず、ポピュラーミュージックやジャズの領域でも多大なるリスペクトを受けているピアノ界のレジェンド、高橋悠治がフランスの作曲家、エリック・サティのピアノ作品を40年ぶりに再録音しました。収録曲は「ジムノペディ」や「クワシエンヌ」「ジョ・トゥ・ヴ」など、エリック・サティのものも広く知られている曲を集めたもの、有名な無名曲の垣根なく、常に思案と昇華に富んだアルバムを絶賛的にリリースしている高橋としては、異例的オーソドックスな選曲のアルバムとなっ